

社会福祉法人菊池園

令和元年度事業計画

1. 法人理念・使命・職員行動指針

当法人では、理念、使命、職員行動指針をよく理解し、実践することにより、障害者福祉の向上、地域福祉の向上を目指します。

(1) 理念 ～法人としての根本的な考え方～

【 菊池園法人理念 】

まずは利用者ありき。
すべてはそこから始まる。

利用者にとってより良い生活環境の実現を目指して、
全職員が一丸となって日々努力していく。

(2) 使命

【菊池園の使命】

「3つの幸せの実現」

- ① 利用者の幸せ
- ② 地域社会の幸せ
- ③ 職員の幸せ

(3) 行動指針 ～職員に求める職務姿勢～

【 菊池園職員行動指針 】

- ① (人権尊重) 利用者の人権を尊重し、安全・安心・快適なサービスを提供します。
- ② (接遇態度) 明るい笑顔と挨拶を行います。
- ③ (接遇態度) 好感の持てる身嗜み・態度・言葉遣いを行います。
- ④ (規律性) 時間厳守、機敏な行動、整理整頓を行います。
- ⑤ (責任性) 自己の役割を認識し、責任ある行動を行います。
- ⑥ (積極性) 向上心と広い視野を持ち、積極的に仕事に取り組みます。
- ⑦ (協調性) 部署内外にこだわらず、全職員で連携し職務遂行にあたります。
- ⑧ (専門性) 専門職員として、知識・技術・価値観の向上に努めます。
- ⑨ (守秘義務) 仕事上で知り得た個人情報に対して、守秘義務を厳守します。
- ⑩ (信頼性) 利用者や地域に信頼される施設になるよう努めます。

2. 基本方針

近年、少子高齢化の進展に伴い、介護人材の確保は年々厳しさを増している。こうした中、国は人手不足の解決策として、これまでの EPA や技能実習制度に加え、新たな在留資格「特定技能」を創設し介護分野等への外国人労働者の受入れ拡大を図ることにした。今後、加速度的に介護分野への外国人労働者の受け入れが進むと思われる。当法人としては適宜情報収集を行いつつも、まずは職員の確保・定着・成長を図ることができるよう法人内での体制作りを進めていく。特に今年は課長・主任を中心とした風通しの良い職場を作っていくために定期的に勉強会を行い、価値観の共有化を図っていく。また、キャリアパスの再整備を行い、一人ひとりが目標を持ち成長できる職場環境を整えていく。

人材確保対策として、昨年度より給与制度や就業規則の見直しを行い、新たな職員区分を創設し多様な働き方を可能とするための仕組み作りを進めてきた。4月より本格的に運用を開始する。また、菊池園のホームページのリニューアルを行い、サービス内容だけでなく求人向けの情報を充実させ発信していく。

法人運営においては、平成 29 年度より全面施行された改正社会福祉法も 3 年目を迎え、6 月に最初の役員改選の時期となる。法令を遵守し役員改選手続きを円滑に進めていけるよう準備を進めていく。また、今年度は働き方改革の一環で有給休暇の年 5 日付与や消費税率 10%への引き上げに伴う介護職員の更なる処遇改善が図られる予定である。職員の働きやすい環境や処遇の改善につながるよう適切に対処していきたい。

入所部門においては、利用者の高齢化・重度化への対応として、昨年に引き続き基本介護部分に手厚い体制が確保できるようサービス内容や日課の見直しを行っていく。特に今年は建て替え後 5 年が経過し、介護度合いの偏りも見られるため、居室替えの検討を行っていく。また、施設での看取りをはじめ終末期の過ごし方についても、利用者やご家族の意向にそった支援ができるよう体制を整えていく。

在宅部門では、共生型サービスの指定を受け 65 歳を迎えた高齢障害者の方が継続して菊池園の通所サービスや短期入所サービスを利用できるようになった。関係機関に周知すると共に利用希望者の受入れを適宜行っていく。

地域における公益的な取り組みとして、「ふくおかライフレスキュー事業」への協力や法人独自の取り組みである「地域サポート事業」に今後も継続して取り組んでいく。

大刀洗川の浸水対策として、昨年朝倉県土整備事務所と協議し、河川沿いの入り組んだ境界を整理し、その上で法人敷地内に擁壁設置等の浸水対策を行うことが可能となった。現在、河川沿いの測量作業を行っており、朝倉県土整備事務所と連携し対応を行っていく。

昨年は残念なことに施設内で虐待事案が発生してしまった。二度とこうしたことが起こらぬよう、職員の倫理観の醸成や虐待の正しい理解を深めていくこと、日々の支援の中で不適切ケアに向き合い無くしていくこと、対応困難な事例へチームでアプローチしていくこと、過密になっている職員の業務負担やストレス軽減を図っていくこと。こうした取り組みを法人としてしっかり行い虐待の再発防止に努めていく。

今年度は平成が終わり新たな時代のスタートの年となる。今一度、菊池園理念に立ち返り、職員一丸となり、これからの施設作りを進めていく。

3. 平成31年度重点実施項目

(1) 利用者サービスの充実

- ①権利擁護・虐待防止に向けての取り組み
- ②サービス内容、日課の見直し
- ③看取りに向けての体制整備

(2) 地域ニーズへの対応

- ①共生型サービスの実施
- ②ライフレスキュー事業への協力
- ③地域サポート事業の実施

(3) 人作り・組織作りの推進

- ①教育体制の整備（キャリアパスの整備）
- ②課長・主任を中心としたチーム作り（価値観の共有化、定期的面接）

(4) 職員の労働環境の改善

- ①介護機器やICTの活用（リフター、眠りスキャンの導入）
- ②過密業務の見直し、業務の細分化（中高年者の活用）

(5) 人材の確保対策

- ①ホームページの見直し

(6) 経営基盤の安定化

- ①新給与制度への移行
- ②報酬改定への対応（消費税増税、さらなる処遇改善）
- ③就業管理体制の見直し（有給休暇の年5日付与）

(7) その他の取り組み

- ①大刀洗川の浸水対策
- ②災害対策の強化（BCPの作成）
- ③リネン業者の見直し
- ④防犯カメラの増設
- ⑤制服の見直し
- ⑥倉庫の整備検討（災害物資、行事物品）